

UART

1. 動作概要

PCのターミナルソフトから入力されたデータをエコーバック表示する。

2. 各設定

UART	: TXD2(Port93) : RXD2(Port94)	
送信ストップビット長	: default = 1ビット	main.c : "#define UART_TRANS_STOP_BIT_LENGTH"の値を変えることで送信ストップビット長を変更できます。
パリティ付加	: default = パリティなし	main.c : "#define UART_PARITY"の値を変えることでパリティ付加設定を変更できます。
TXD端子の出力選択	: UART出力(固定)	
転送ベースクロックの選択	: default = ギアクロック	main.c : "#define UART_CLOCK"の値を変えることで転送ベースクロックを変更できます。
RTクロック数の選択	: default = 17/17クロック	main.c : "#define UART_RT_CLOCK"の値を変えることでRTクロック数を変更できます。
RXD入力のノイズ除去時間の選択	: default = ノイズ除去なし	main.c : "#define UART_NOIZE_CANCEL_TIME"の値を変えることでRXD入力のノイズ除去時間を変更できます。
受信ストップビット長	: default = 1ビット	main.c : "#define UART_RECEIVE_STOP_BIT_LENGTH"の値を変えることで受信ストップビット長を変更できます。
ボーレート	: default = 115200(bps)	main.c : "#define UART_BAUD_RATE"の値を変えることでボーレートを変更できます。 ※転送ベースクロックを元に算出されます
シリアルポート設定	ボーレート データ パリティ ストップ フロー制御	: 115200(bps) : 8(bit) : なし : 1(bit) : なし

3. 基本動作

ターミナルソフトから入力された文字列を受信し、受信した文字列をターミナルソフトに表示する。

ターミナルソフト表示例

```
UART Sample Program
-----
PC -> MCU(RX): abcdef
MCU -> PC(TX): abcdef
```

4. 特記事項

特になし